



1 2 月 号

毎年の恒例となったサンタクロース追跡サイト「NORAD Tracks SANTA」をご存知でしょうか。北アメリカ航空宇宙防衛司令部から全世界の子ども達にサンタが今どこにいるのか、追跡調査するサイトです。

1955年、今から62年前、子どもが間違えてサンタに繋がる電話としてかけた先は、中央アメリカ合衆国とカナダが共同で運用している連合防衛組織でした。電話に出たハリーシャウブ大佐、「レーダーで調べるとサンタは北極から南へむかった形跡がある」とユーモアで返答したことがきっかけで始まりました。12月24日から追跡調査が始まります。間違えてかけた子どもの好奇心はますます広がりクリスマスをワクワクして待ったことでしょう。子どもは興味関心があることはどんどん学びに変えます。その道しるべを作るのは大人です。

関西屈指の進学校で知られる灘中、灘高では、土曜日に開校される授業に「オリガミクス入門、作図可能性を巡って」という授業があります。中2から高2までの生徒が各々折り紙を持って集まります。

『正方形の折り紙 ABCD がある。対角線 AC, BD の交点 F を折り込み、F が辺 BC 上にくるように折り目をつける。そうして得られる多数の折り目から、放物線が浮き出てくることを確かめよ。』??とちんぷんかんぷんですが、要は、折り紙の中心に1辺が重なるように少しずつ角度を変えて折りましょう。ということのようです。折ってみると放物線が浮き上がってくるのです。

折り紙をしながら、「角の三等分問題」「3次方程式」も解いていくようです。

「小さい時に折り紙が好きで折り紙の本をよく読んでいました。でもそこによく「角が三等分になるように折りなさい」なんて普通に書いてあったんですけど幼心に「そんなの無理じゃん」ってずっと思ってたんです。だから今本当に三等分に折れるということがわかって、ちょっと感動しました」オリガミクスの授業を受けた一人の生徒の言葉です。子どもの頃に、ワクワクしたこと、好きになったことは、心の核に入ります。その楽しい時間は子どもたちの思考力をおおいに伸ばします。灘中、灘高の授業は小学校がめざまさしくアクティブラーニング。ソフィア時代の子どもたちは、生きた授業アクティブラーニングを日々の生活でみつけています。子ども達の興味や関心を見失うことなく引き出していきたいと思います。年末年始、ご家族での時間も増えることかと思えます。子どもたちとともに楽しい時間をお過ごしください。良いお年をお迎えください。